

今とあしたに責任を持つ政策

かくま正一^{まさかず}通信

〈発行日〉 令和4年4月 〈発行者〉 自由民主党富山県議会議員会
 〈事務所〉 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保977-1
 〈TEL〉 0765-82-1333 〈FAX〉 0765-82-2113
 〈URL〉 <http://kakuma-masakazu.jp> 〈Eメール〉 masakazu@kakuma.net

ごあいさつ

皆様こんにちは。平素より温かいご指導、ご支援を賜わり、お陰様で元気に議員活動ができておりますことに心より感謝申し上げます。

発症から3年目に入った新型コロナウイルス感染症は、4月1日より、富山県独自の警戒レベルがステージ1に引き下げられました。引き続き感染防止に注意しなければなりません、通常の社会経済活動が戻ることを心から願います。

さて、ロシアのウクライナ侵攻は主権国家の侵害・無辜の民の殺害という明白な国際法違反です。県議会は、2月定例会の初日（2月25日）に非難決議をしました。非道な破壊と殺戮が一日も早く終わることを願うばかりです。一方で、ロシア、北朝鮮、中国との位置関係にある日本の地政学的リスクに改めて思いを馳せました。

ロシア制裁の影響は、エネルギー価格や食糧価格の上昇等日常生活や経済活動に表れています。そのための政府や県による経済対策は無論必要ですが、この厳しい世界情勢の中で私達は相当の覚悟も必要に思います。

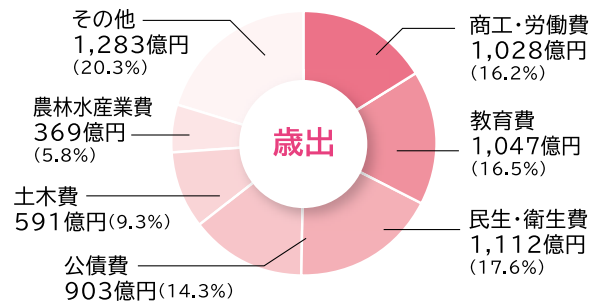
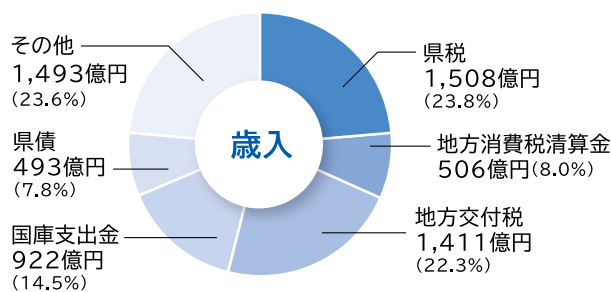
私は、県民の皆様の声と意思をしっかり受け止め、行政に届け、諸課題の前進に努力してまいる所存です。

本通信では、前回の正一通信以降の活動状況をご報告させていただきます。何卒、今後とも皆様のご指導と叱咤激励を賜わりますよう心よりお願い申し上げます。

令和4年4月 富山県議会議員 鹿熊 正一

令和4年度富山県一般会計予算成立（県議会R4.3.24）

予算総額 約6,333億円



県広報とやま 4月号より

新型コロナ対策予算635億円（一部1月補正・2月補正予算）の主な事業

- ・ワクチン接種の推進 14億7,400万円
- ・PCR等検査の無料化 51億円
- ・中小企業ビヨンドコロナ補助金 20億円
- ・新たなGo Toトラベル富山県事業 63億1,800万円
- ・入院病床や宿泊療養施設の確保、自宅療養支援等 204億7,400万円

令和4年度予算に向け、町・県・国に対し 様々な要望活動を行った

◎東部土地改良協議会の国要望 R3.11.11



宮崎農林水産大臣政務官に要望

- 〈要望内容〉 土地改良事業予算の確保を要望
〈結果〉 国の令和3年度補正予算・令和4年度当初予算で6,300億円の土地改良事業予算が確保され、管内の土地改良事業が着実に推進される見通しだ。

◎自民党県議会議員会の県要望

R3.12.1



- 〈要望内容〉 ・医療福祉施策の推進について
・誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びの保障について等10項目の県政重要課題を要望
〈結果〉 ・小児医療等提供体制の強化
・富山県訪問看護総合支援センターの設置
・少人数教育の推進
・農林水産物輸出促進事業等、要望に沿った令和4年度予算が成立した。継続案件もある。

◎新川県議団の国要望

R3.12.16

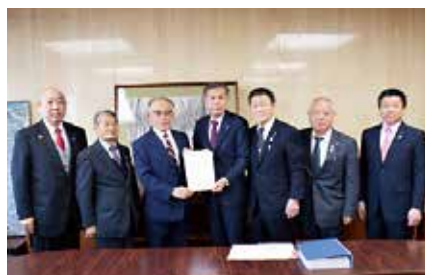
- 〈要望内容〉 国道8号の整備促進を要望（入膳地内現道拡幅促進、入善黒部バイパス4車線化促進、横尾・城山トンネル新規建設に向けた調査の早期開始）
〈結果〉 令和4年度当初予算で15億円の改良予

算が確保された。事業が着実に推進される見通しだ。



村山国交省道路局長に要望

◎自民党朝日町支部の町要望 R3.12.23



- 〈要望内容〉 ・米価下落対策としての農家支援について
・コロナ禍における小学校学校給食費の助成継続について等10項目を要望
〈結果〉 多くの項目が要望に沿って予算化された。継続案件もある。

◎富山県山村振興議員連盟の県要望

R4.1.20



- 〈要望内容〉 ・山村におけるデジタル基盤を整備しデジタル技術を活用した山村振興について
・林道や路網整備の推進について等31項目を要望
〈結果〉 中山間地域ドローン物流実証事業や富山県林業イノベーション推進総合対策事業等が要望に沿って予算化された。継続案件もある。

●県立泊高校の跡地利活用の取組方針を質す。

質問 朝日町の中心部に3.6haを超える県有地が未活用の状態で存在することは、町の活性化にとり大きなマイナスである。活用方針について問う。

答弁 新田知事 令和3年4月に、公募型プロポーザルにより民間からの提案募集をしたが申し出が無かった。県としては、企業誘致用地として整備し、県と町が協力し企業を誘致することとした。令和4年度は、速やかに用地測量や解体工事設計に着手し、できる限り早く企業誘致用地として提供できるよう整備を進める。

一〇コメント：

ようやく県の方針が決まった。この地に企業誘致が進み、町活性化につながることを期待する。

●ウェルビーイング向上に向けた取組方針を質す。

質問 ウェルビーイングについて県民の理解が進んでいない。早くウェルビーイングを測る指標を設定し、その指標に基づく県民調査をして現状を把握することが必要だ。そこから、ウェルビーイング向上に向けたPDCAサイクルが始まると考える。見解を問う。

答弁 三牧知事政策局長 本県ならではの指標を年内を目途に設定する予定だ。また、この指標に基づく県民のウェルビーイング調査を令和5年度から継続的に実施し、本県のウェルビーイングの進捗状況を把握したい。施策の効果を測り、PDCAを回しながら、本県のウェルビーイング向上に努めてまいりたい。

一〇コメント：

ウェルビーイングとは、精神的、身体的、社会的に満たされた状態にあること（WHO憲章前文）であり、一人一人の受け止め方が異なる。従って、県の政策として「ウェルビーイング向上」を掲げるならば、県民共通の指標とその指標に基づく県民実態調査が必要と考える。

●今後の県立高校改革の取組方針を質す。

質問 「令和の魅力と活力ある県立高校のあり方検討委員会」の今後の検討スケジュール並びに具体的な高校改革の方針について見解を問う。

答弁 荻布教育長 令和5年春を目途に、学科の新設や改編を含めた魅力と活力ある県立高校のあり方についての検討委員会報告書を作成する予定。具体的な高校改革については、中学校卒業予定者数の減少や国の普通科改革や遠隔教育の推進、また教育DX等の社会情勢の変化等に対応するため、新たな高校再編を含めた協議が今後必要となる。

一〇コメント：

令和10年3月には、中学校卒業予定者数が8,000人を割り込む。また令和10年～12年には、1学年の平均学級数が4を切る見込みだ。この他にも様々な課題がある。できる限り早期に具体的な高校改革の議論に入ることが必要と考える。

トピックス

R3
10/20

新川高校で主権者教育の授業

県議11人が各クラスを担当した。私は、税の仕組みや使われ方、多数決の原理や少数意見の尊重等について生徒と対話しながら授業を行った。初体験だがとても楽しかった。



R3
11/19

再生可能エネルギーに関する講演会

朝日町のNPO法人「再生可能エネルギープロジェクト（代表：大平正通氏）」が講演会を主催し、三牧知事政策局長が講演した。内容は、洋上風力発電の導入拡大に向けた国の取組みや富山県の再生可能エネルギービジョン等興味深いものであった。



三牧知事政策局長

R3
11/20

第9回寺子屋カレッジの開催

音楽夢工房を会場に、加藤敏久先生の話（今回のテーマは「日本音楽と西洋音楽の違いを聴き分ける」）と本物の音響を楽しんだ。余韻に浸りながら、最後に県政報告を行った。



R3
11/20

山崎の今と明日を語ろう会の開催

県と町と山崎自治振興会の協働の事業として開催された。参加者が6班に分かれて、「子育て環境」や「観光・交流人口」等について話し合いを行った。12月19日、1月22日の3回開催され、3回目に、各班が山崎の活性化を目指すアクションプランを発表した。今後このプランが実行されることを期待したい。私は、「子育て環境」班に参加した。



草原山崎自治振興会長

R4
2/1

第2回あさひフレイル予防サポーターの会活動報告会・記念講演会

富山大学の山城名誉教授が「コロナ禍におけるフレイルチェック事業の意義」のテーマで記念講演をされた。小林会長は「とにかく楽しく活動すること」を強調された。上市町や富山市からも研修参加されていた。



小林会長

R4
3/13

寄附講座「朝日・地域医療支援学講座」更新

朝日町と富山大学附属病院が平成31年4月から3年間開設した寄附講座は、地域医療と介護の提供に努めるあさひ総合病院にとり大きな効果があった。この度、令和4年度から3年間、引き続き寄附講座を開設することとなった。当病院の医療提供体制の充実にとって大変意義深いことと思う。



現在の主な役職

- ◎富山県山村振興議員連盟会長
- ◎富山県観光振興議員連盟会長
- ◎(公財)富山県消防協会会長
- ◎自民党朝日町支部長
- ◎朝日町土地改良区理事長
- ◎朝日町消防団長
- ◎朝日町サッカー協会名誉会長